

No 99

2022.11  
<令和4年>

# フウノギカイ

新議場特集号



## 主な内容

- ・新議場特集  
～これまでのあゆみを振り返る～  
・・・P2～4
- ・9月定例会で行われた主な質疑  
・・・P6～7
- ・一般質問 ・・・P8～11
- ・委員会報告 ・・・P11～13
- ・可決された意見書 ・・・P13
- ・編集後記 ・・・P15
- ・議会の中からこんにちは・・・P16





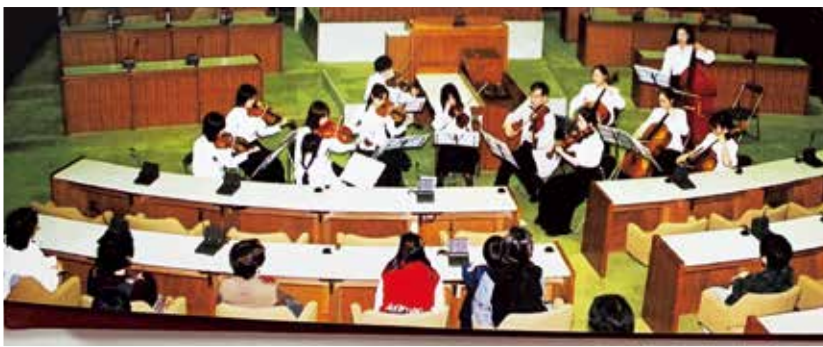
# これまでのあゆみをふり返る

特集

令和

平成26年  
「議会基本条例」制定

平成25年  
「まずはふらのワインで乾杯条例」  
議員の提案で初めて制定されました。



平成13年第1回議場コンサート

平成21年  
議場での議論をインターネット放送開始

平成13年～平成20年までの間に8回と、平成27年に1回の合計9回開催されました。



開庁当時の議場

昭和43年12月には、新しい庁舎（今の旧庁舎）開庁に伴い新しい議場での議会がスタートしました

昭和

## 市議会スタート

昭和41年  
市議会は合併特例により、富良野町と山部町の両町議会議員の定数38名で発足しました。

昭和41年5月、第1回臨時市議会が開かれました。昭和42年4月に市議会議員の選挙では、定数が30名となりました。



昭和42年～46年



令和4年9月新議場に



令和4年現在 議員定数18名



### 平成時代のひとこま

中心市街地活性化対策として、富良野駅前市街地再開発事業に関する議論や、「総合こども園」に関する市民団体からの請願を全会一致で可決するなど、活発な議論が交わされました。



平成7年～11年

## 平成

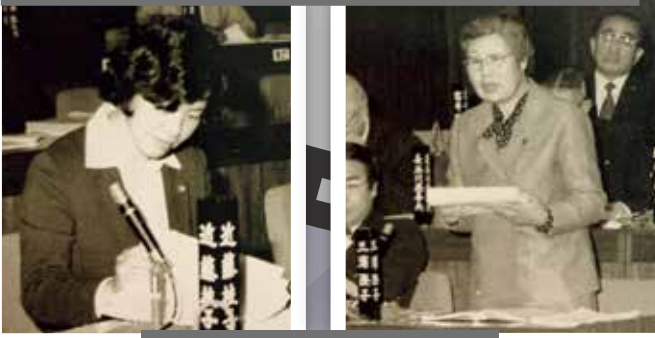
### 昭和時代のひとこま

#### 富良野国体誘致を決定

昭和45年9月、市議会で昭和50年第30回国体冬季スキー競技会の誘致を決定しました。

その後もアルペンスキーの聖地として全国規模の大会を多く開催しました。

### 昭和50年代には女性議員の姿も



昭和50年～58年



# 旧庁舎議場について

議長 黒岩 岳雄

旧庁舎議場は昭和43年12月、54年前に建設されております。令和4年第3回定例会(9月)を最後とし、この議場が閉じられました。

二元代表制のもと、富良野市発展のために多大なご尽力をされてまいりました諸先輩方をはじめ、議員各位に深く感謝申し上げます。

議会の役割として、種々の課題について、様々な立場から真摯に議論を重ね、時には厳しく意見を闘わせながら、それぞれの課題に対し結論を出してまいりました。

真摯なる議論を、昭和、平成、令和の三世代にわたって議員、理事者が切磋琢磨してまいりました旧庁舎議場に改めて感慨深く感じるところであります。

今後におきましても様々な重要課題が控えております。私ども、議会は住民意思の決定機関として、十分その役割を果たすよう、しっかりと取り組んでまいる所存であります。新しい議場でも、富良野市の将来に向けた、活発な議論を重ねてまいりますことを皆様にお誓い申し上げる次第であります。



現職議員と元職議員による旧庁舎議場での最後の写真

## 議会報告会を YouTube で配信します

今年の議会報告会は、11月9日、10日の2日間、市内2会場で4回開催いたしました。  
その報告内容を YouTube で配信いたします。

(詳しい内容は、議会ウェブサイトでお知らせします。)



# 令和4年 第3回 富良野市議会定例会 議決結果表

令和4年9月1日～9月14日(14日間)

議決結果

議案番号	事 件 名	議決月日	議決結果
議案第 1 号	令和4年度富良野市一般会計補正予算(第6号)	9月14日	原案可決
議案第 2 号	令和4年度富良野市介護保険特別会計補正予算(第1号)	9月14日	原案可決
議案第 3 号	令和4年度富良野市ワイン事業会計補正予算(第1号)	9月14日	原案可決
議案第 4 号	富良野市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	9月14日	原案可決
議案第 5 号	富良野市公民館設置条例等の一部改正について	9月14日	原案可決
議案第 6 号	市立富良野図書館設置条例の一部改正について	9月14日	原案可決
議案第 7 号	富良野市立へき地保育所設置条例の一部改正について	9月14日	原案可決
議案第 8 号	富良野市子ども医療費の助成に関する条例の一部改正について	9月14日	原案可決
議案第 9 号	富良野市重度心身障害者及びひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例の一部改正について	9月14日	原案可決
議案第10号	富良野地区介護認定審査会規約の変更について	9月14日	原案可決
議案第11号	富良野市表彰条例に基づく表彰について	9月14日	原案同意
議案第12号	富良野市監査委員の選任について	9月14日	選任同意
議案第13号	富良野市公平委員会委員の選任について	9月14日	選任同意
議案第14号	令和4年度富良野市一般会計補正予算(第7号)	9月14日	原案可決
議案第15号	市民の暮らしを育む条例の一部改正について	9月14日	原案可決
議案第16号	富良野市議会委員会条例の一部改正について	9月14日	原案可決
議案第17号	富良野市議会傍聴規則の一部改正について	9月14日	原案可決
議案第18号	議員の派遣について	9月14日	原案可決
報告第 1 号	令和3年度健全化判断比率について	9月 1日	報告済
報告第 2 号	令和3年度資金不足比率について	9月 1日	報告済
報告第 3 号	株式会社富良野振興公社の経営状況について	9月 1日	報告済
報告第 4 号	株式会社ふらの農産公社の経営状況について	9月 1日	報告済
報告第 5 号	一般財団法人富良野市農業担い手育成機構の経営状況について	9月 1日	報告済
報告第 6 号	株式会社空知川ゴルフ公社の経営状況について	9月 1日	報告済
報告第 7 号	専決処分報告について(公園樹木の倒木による損害賠償及び和解について)	9月 1日	報告済
報告第 8 号	専決処分報告について(市道における物損事故の損害賠償及び和解について)	9月 1日	報告済
報告第 9 号	専決処分報告について(令和4年度一般会計補正予算(第5号))	9月 1日	原案承認
認定第 1 号	令和3年度富良野市一般会計歳入歳出決算の認定について	9月 1日	特別委員会設置付託 継続調査
認定第 2 号	令和3年度富良野市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	9月 1日	特別委員会設置付託 継続調査
認定第 3 号	令和3年度富良野市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	9月 1日	特別委員会設置付託 継続調査
認定第 4 号	令和3年度富良野市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	9月 1日	特別委員会設置付託 継続調査
認定第 5 号	令和3年度富良野市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	9月 1日	特別委員会設置付託 継続調査
認定第 6 号	令和3年度富良野市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	9月 1日	特別委員会設置付託 継続調査
認定第 7 号	令和3年度富良野市水道事業会計決算の認定について	9月 1日	特別委員会設置付託 継続調査
認定第 8 号	令和3年度富良野市ワイン事業会計決算の認定について	9月 1日	特別委員会設置付託 継続調査
意見案第1号	国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書	9月14日	原案可決
意見案第2号	義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、「30人以下学級」など教育予算確保・拡充と就学保障の実現に向けた意見書	9月14日	原案可決
その他会議に付した事件	発議 議員の派遣について	9月14日	決 定
	議会改革特別委員会報告	9月 1日	報 告 済
	議会運営委員会委員の補充選任	9月 1日	選 任
	議会広報特別委員会委員の補充選任	9月 1日	選 任
	所管事項に関する中間報告		
	・事務調査報告(総務文教)	9月 1日	継続調査
	・事務調査報告(市民福祉)	9月 1日	継続調査
	・事務調査報告(経済建設)	9月 1日	継続調査
	監査委員報告		
	・例月出納検査結果報告(令和3年度5月分、令和4年度5月分、6月分)	9月 1日	報告済3件
	令和3年度富良野市教育行政評価報告	9月 1日	報 告 済
閉会中の都市事例調査について(総務文教・市民福祉・経済建設)	9月14日	許可3件	

令和4年度一般会計補正予算  
1億7690万9千円を増額

ふるさと納税事業費

1億2697万5千円

事業内容

本年4月から7月までの寄付実績が好調であったことから、ふるさと納税に関する諸経費の増額と合わせ、収入増を目指して広告を行うための経費です。

**問** 事前に伺った内容と提案説明が若干異なっているように感じるので、詳しい説明を願う。

**答** 当初予算では、年間2億円の寄付を見込んでいたが、7月までに前年度の6倍の実績となったため、支援業務と返礼品発送業務委託、通信運搬費と手数料のそれぞれを増額するほか、更なる増収に向け広告料の増額をするものである。

なお、11月から来年3月までは前年度同様の寄付額で推移することを想定した場合、今年度の寄付額は5億4千万円ほどと見込んでいる。



地域防災事業費 158万4千円

事業内容

市街地におけるラジオからの聴取環境改善及び東山方面の聴取を継続するため、送信所を富良野スキー場ロープウェイ山頂から清水山とする改修工事を行うものです。

**問** 昨年、市街地の難聴区域が確認されたと報告を受け、調査を行いながら今回の改修に至ったと伺っている。しかし、東部地区などで聴取できなくなるとあった。防災の観点からも聴取区域が100パーセントとなる改修か。

**答** 令和3年よりロープウェイ山頂から試験放送を行ったところ、市街地での受信感度が下がったことが報告された。

送信所を清水山に戻したことから、市街地の難聴は解消されたが、山部と東部地区が難聴となったため、市内全域をカバーするための検討を続けている。

**問** 市がこの事業に取り組み目的として、防災が最大の目的である。報告後、1年近く経過するにも関わらず全市カバーができておらず、今回の予算でも改善されない。今後の改修において、目的をつけて取り組むべきと考えるが見解は。

**答** 災害時の情報伝達のため整備を行ってきた。今回の改修では山部、東部をカバーすることは困難であることから、インターネットの利用や別の伝送手段を検討したい。

母子保健事業費 271万7千円

事業内容

産後ケア事業を実施するための各種経費のほか、産婦検診事業が国の負担で行うためのものです。

**問** 委託料などの経費が計上されているが、詳しい事業内容及び器具購入の内訳は。

**答** 産後ケア事業は、法律で努力義務とされており、今回、地域センター病院と協議し実施することとなった。同病院へ委託し、短期入所、通所によるサービスを提供することとし、1回につき7日間程度のサービスを予定しており、10月から実施したい。

また、購入する器具は、体重計、身長計や保育用ベッドなどを予定している。



# 予算 1億7690万9千円

例会（9月定例会）が9月1日から9月14日までの14日間でひらかれ、各議案の審



# 9月定例会 令和4年度一般会計補正 を原案どおり可決。

9月  
定例会

旧庁舎議場における最後の定例会として、令和4年第3回定議が行われました。

## 子ども医療給付事業費

540万円

### 事業内容

12月から高校生までの医療費を無償化とするためものです。

**問** この予算が議決された後の予定と新たに受給者になる市民への周知は。

**答** 条例の施行日は12月1日として、12月の受診から適用される。

また、受給者証の交付に当たっては、申請が必要なため、対象者に11月を目途に申請書を送付し、受給者証の交付を行いたい。周知に当たっては申請書送付の際の同封チラシや広報、市ホームページを活用する。

## 子ども家庭センター整備事業費

1000万円

### 事業内容

保健センターの一部が複合庁舎移転ことに伴い、空き室となった保健センター2階を子ども通園センターと子ども家庭センターに改修するための設計委託料です。

**問** 子ども家庭センターを整備する際のビジョンと設計に含まれる整備内容は。

**答** ビジョンとして、子ども通園センターの移転をはじめ、子

育て包括支援施設、子ども家庭センターを整備したい。移転していない既存部門と合わせ、保健センターへ子育て支援と相談機能を一体的に集約する。

具体的には、内装の改修、エレベーターや空調など既存設備の更新などを考えている。

## 富良野スキー場開設60周年記念事業実行委員会補助金 500万円

### 事業内容

本年、開設60周年を迎える富良野スキー場で、スキー場の活性化に向け、各種事業を実施する実行委員会へ対し、補助金を交付するものです。

**問** 8月下旬に受けた説明では、スキー場からの要望が8月になってからと唐突感がある。周年事業であることから、予測可能ではないか、提案に至った経緯は。

記念事業が地域振興と言いつつも誘客事業に見える、目的と事業に違いが見られるが見解は。

この事業を次に繋げるためには、フラノビジョン2030や総合計画・総合戦略との整合性が求められるが、見解は。

補助率がほかの補助金と比べて高いが、理由は。

**答** 経緯として、6月ごろには60周年と伺っていたが、当時、市

としての対応は未定であった。8月に入り、西武ホールディングスより要望を受け、協議を進めたところ、スキー場の活性化が必要であると認識した。また、スキー場側でも独自の事業も企画しているほか、総合戦略有識者会議において、今後、市が進めるシティプロモーションでは「農」と「雪」を軸に進めるとしたことを受け、本件の補助を実施することとした。

記念事業は、アフターコロナにおける地域活性化や地域振興を目的に、プロスキーヤーによるレッスン機会の提供やレッスンプログラムの開発のほか、スキー場独自の取組として、設備の充実改修や市民のリフト、レンタル料金の低廉化なども予定されており、誘客特化ではない。

ビジョンでスキー場は、世界水準の山岳リゾートを目指すとしており、そのスタートとしてもこの事業を位置づけることができ、整合性は保たれている。

最初に説明した時点での事業費は少なかったが、その後において積み増しがされているところであり、先に述べたシティプロモーションや山岳リゾート形成の観点から、政策的に加算した結果、高い補助率となったものである。

# ここが聞きたい! 一般質問

令和4年第3回定例会において6人の議員が一般質問を行いました。文責は、質問者にあるものとして、質問・答弁の要旨を掲載しております。なお、議員顔写真は質問中ではなく、別途撮影した写真です。

質問者が収録されている動画のタイトル、動画上で質問が開始される時間は下記のとおりです。

・富良野市議会 議会中継 (令和4年9月8日)			
佐藤 秀靖 議員			44 秒 ごろ
本間 敏行 議員	50 分		33 秒 ごろ
渋谷 正文 議員	1 時間 15 分		22 秒 ごろ
宮田 均 議員	1 時間 45 分		01 秒 ごろ

・富良野市議会 議会中継 (令和4年9月9日)			
宇治 則幸 議員			32 秒 ごろ
大栗 民江 議員	25 分		09 秒 ごろ



富良野市議会の YouTube チャンネルでは、議案質疑や一般質問など、本会議のすべてを視聴できます。左のQRコードを読み込むとサイトに接続できます。

## 安全・安心のまちづくりを目指して

安全・安心なまちづくりについて

**問** 8月16日、気象庁から土砂災害および河川洪水警戒レベル4相当が発表され、続いて大雨・洪水警報も発表されたが、富良野市からの警報に関する情報発信がなかったが、必要だったのではないかと。

**答** 大雨対応では、非常警戒本部を設置し、情報収集を行うとともに対策を講じ、情報発信については道路の冠水に伴う通行止めについて市ホームページ等で周知した。防災という観点から警戒発表後の情報発信の在り方を検討する。

**問** 今回の大雨の庁内対応や手順等の振り返りなどの検証は。

**答** 警戒配備体制等の措置をとった後、振り返りを行い、課題を確認するとともに、庁内で情報共有を行いながら次に活かす取組みを行っている。

**問** 庁内対応や手順等の振り返りの検証を広報などで公表することが、市民の安心につながると考えるが見解は。

**答** 広報などでの検証の公表は研究したい。

**問** 高齢者の免許証自主返納後のサポート制度の導入は。

佐藤 秀靖  
〔ふらの未来の会〕



**答** 自動車は高齢者においても買い物、通院等生活上必要であり、外出することが生きがいにもつながるため、高齢者安全運転支援事業としてアクセルの踏み間違い自己抑制のための急発進防止装置の購入費に対する補助を行っている。北海道の高齢者免許証自主返納サポート制度や他市町村の各種施策を調査研究のうえ、高齢者の交通安全施策について検討する。

・安全安心メールの活用について  
・公営墓地の運営管理について



全戸配付されている防災ガイドマップ



## これからの市政を問う

本問 敏行  
〔ふらの未来の会〕



市政に関する所信表明について

**問** 高齢者が住み慣れた地域に暮らし続けることができるまちづくりとは。

**答** 超高齢化社会の現代においては、平均寿命と健康寿命の差を短縮することが望まれており、健康寿命の延伸の為に、住民が主体的に健康づくりを進めていくことが必要である。また、住み慣れた地域で自立した生活を営めるよう、「地域包括ケアシステム」の充実に向け、医療、介護、予防、住まい、生活支援が包括的に確保される体制づくりに取り組んでいる。

**問** スポーツインフラの整備について今後の考えは。

**答** スポーツ施設の整備は、ふらのスポーツ協会から施設の修繕・改修の整備要望が出されている。スポーツセンターは、特に老朽化が進んでいることから、現在、実施中の耐震診断の結果により、必要な改修等を行うとともに、他のスポーツインフラの整備は、利用者や市民の声を聞きながら総合的に検討する。

**問** 観光客等のごみのポイ捨てについて

**答** 本市は、観光客等が車で訪れることも多く、ごみのポイ捨て現場を見ることがある。本市の美観を守るため対策が必要と考えるが、見解は。

**答** 地域の住民のほか、企業等の団体が実施する美化・清掃活動など、多くの市民の参加により、本市の美観が保持されている。また、ごみのポイ捨てが多く見受けられるエリアもあり、看板の設置や定期パトロール等を行い、対策に努めている。



整備が望まれる富良野スポーツセンター

## 安定した財政運営で農地再編整備事業推進を

渋谷 正文  
〔ふらの未来の会〕



国営富良野山部地域基盤整備推進事業に伴う財政等への影響見通しについて

**問** 本事業は、国の農地再編整備事業として行われ、受益者の工種要望によって実施設計や事業費が積み上がる。地元負担の割合は。

**答** 負担割合は、国75%、道18.3%、地元6.7%となっており、地元負担分のうち、土地改良事業における地方公共団体の負担割合の指針では、自治体4%、受益者2.7%の負担とされている。

**問** 地元が負担する金額は。

**答** 令和3年度の時点で総事業費700億円前後の試算をしている。仮に負担割合の指針を用いた場合で、市負担21.9億円、市内受益農業者14.8億円を試算する。

**問** 当初に試算する事業費から、燃油価格や資材費の高騰、高止まりによって事業費の増加が懸念される。負担額が増額した場合における市の負担のあり方は。

**答** 決定された事業計画の中において事業費が増額となった場合、事業計画の変更を行うことになり、事業費負担割合において自治体と受益者双方が負担する。

**問** 事業完了時に、事業費を一括

償還する際、市が負担する額についてどのような形で償還するのか。

**答** 事業完了後15年間にわたり負担することになるが、起債により一括で負担することで国からの財政措置を受ける方法もあることから、事業工種ごとの事業費と負担割合の指針による負担、起債による制度を見定め、後年度の償還のための減債基金の活用など、将来の負担について検討していく。

〈その他の質問〉

・富良野市学校施設長寿命化計画の進捗について



富良野南富地区と(仮称)五区・御料地区に分割された基盤整備推進事業

市保有、未利用財産のスピーディーな利活用方針決定は

宮田 均  
〔無党派〕



公有財産について

**問** 未利用財産の利活用方針がスピーディーに行われているのか。

**答** 用途廃止になる公有財産については、公有財産利活用検討委員会において、随時、利活用方針を定め、利活用の促進を図る。

**問** 永く空く教員住宅、学校跡が散見されるが、財産の利活用、今後の対応は。

**答** 77棟、97戸の教員住宅を管理しているが、教職員のニーズなどから、入居率は約54%に減少。入居見込みのない教員住宅、閉校した学校跡地を含めて、公有財産利活用検討委員会に諮り、利活用の促進に努める。

市民が共同して利用できる農産加工場の設立による産業の育成について

**問** 富良野大手加工品のほとんどが外注商品であり、地元加工できると、産業、雇用へも繋がる。初期投資の軽減からも、市民シェア加工所創設の考えは。

**答** 産業経済構造調査において、市内企業が販売する加工品は市街に外注する割合が一定程度あり、自給率や市内経済の循環に影響を

与えている。

共同利用食品加工施設の設置については、複数利用者による衛生管理の対策が必要となる。事業者が加工施設を設置し、自給率向上や経済循環に努め、中小企業総合振興補助金による施設の設置に向けて支援を進める。

△その他の質問▽  
・災害における市道の復旧、管理について。



入居率の低い教員住宅

ゼロカーボンシティ実現に向けた再生可能エネルギーは

宇治 則幸  
〔市民連合議員会〕



脱炭素社会の構築に向けた再生可能エネルギーの利用について

**問** 本市において主に活用されている再生可能エネルギーと今後有効と考えられるエネルギーは。

**答** 「固形燃料ごみを原料とするRDF」「太陽光」「木質バイオマス」が挙げられ、「再生可能エネルギー」のポテンシャル調査の結果として、小水力、太陽光、バイオマス、雪氷熱が挙げられる。

**問** ペレットストーブの常設展示と普及拡大を図る取組は。

**答** 新庁舎移転に伴い常設展示は無くなるが、「ふらの環境展」開催のほか、新庁舎1階の「Fプラザ」を利用した定期的な展示を検討している。また、平成21年度に「富良野市再生可能エネルギー導入促進事業補助金」により、木質ペレットストーブ設置支援を開始。太陽光、薪ストーブへと追加支援をし、利用されている。

**問** 本市では昨年4月、「2050年ゼロカーボンシティ」を表明し、今後脱炭素に向けた取組を推進していくなか、環境省事業の「地域脱炭素移行、再エネ推進交付金」の支援対象となる「脱炭素先行地域」への検討は。

**答** 「2050年ゼロカーボンシティ」の実現に向け今後有効と考えられる再生可能エネルギーについて、本年度中に策定予定である2050年カーボンニュートラル社会実現に向けた再生可能エネルギー導入計画の「脱炭素ロードマップ」の中で整理を行うこととしている。

国の「脱炭素先行地域」への検討では、本市として市内モデル地域を設定し調査研究を行い、同地域で得られた知見を他地域へ広げていくステップを想定しており、その過程でエントリも念頭に置きながら協議を進めていく。



麓郷の白鳥川にある小水力発電施設



## デジタル障害者手帳の 推進を

大栗 民江  
〔無会派〕

障がい者が安心して暮らせる共生  
社会の推進について

**問** 紙製の障害者手帳は劣化しやすい課題があるので、デジタル障害者手帳「ミライロID」を紙製と同じく障害者割引の本人を確認する取り組みが、全国各地で始まっているが市の認識は。

**答** デジタル障害者手帳は、専用アプリで障害者手帳の情報をスマートフォンに取り込むもので、窓口等での確認をスムーズに行う事ができ、道内でも鉄道バス事業者、映画館、道立施設等で本人確認が導入され始め、障がいのある方の利便性を向上させるものとして認識している。

**問** 本人確認の簡素化を情報提供すべきと思うが周知広報の考えは。

**答** 市ホームページや「心身障がい者の手引き」により、アプリについて情報提供するとともに、福祉関係機関等に周知を図っていく。

**問** 画面の掲示による確認は障害者手帳所持者の心理的負担も軽減すると思うので、本市でも幅広く活用できるようにするべきと思うが導入についての考えは。

**答** 今後、障がい者に対する減免等を適用している施設管理者に、

導入に向け協力を要請するとともに、市内各事業者へのアプリの周知を図っていく。

**子どもの食物アレルギーについて**

**問** 本市における児童生徒の実態と学校現場の対応は。

**答** 健康状態に関する調査報告書では、小学生は、本市11・9%、道9・3%。中学生は、市14・3%、道10・7%と、道を上回っている。教職員が児童生徒の情報を共有し、連携した対応ができる校内体制のもと環境づくりを進めていく。



障害者手帳を、あなたのスマホへ。

MIRAIRO ID



ミライロIDが使える場所

## 調査第4号 自主財源の確保について

〔中間報告〕

総務文教委員会

本市では各種施策の着実な推進に努めるとともに、事務事業の見直しによる経費の節減、歳入確保に努めるとともに、歳入に見合った予算の適正な執行を行っているところ です。

本委員会では未来に向けて積極

的なまちづくりを行っていくためには、コロナ禍における市税収入の減少や、高齢化社会への対応等に備え、税収を含めたさらなる自主財源の確保に向けた取り組みが必要と考えています。その一つの手法として全国ではふるさと納税などで自主財源を確保しているところが数多くあることに着目しました。ふるさと納税には個人版と企業版があり各々の制度を再認識すること、本市におけるふるさと納税の取組の経過と現状、これからの課題について把握するとともに、その他のさまざまな自主財源

の確保に向けた施策の中から、ふるさと納税などの事業も、本市の魅力発信、産業発展、知名度向上にもつながると考え、調査を進めています。

特に議論が集中したふるさと納税については、あらためて、制度

概要や本市のふるさと納税の実態と推移、返礼品に対するリピート率、寄付者のリピート率、本市が契約されているふるさと納税ポータルサイトの利用状況、寄附金の使途について理解深め意見交換を行いました。

本委員会としても、自主財源はふるさと納税に限らず、企業版ふるさと納税、宿泊税やクラウドファンディング、ネーミングライツなど創意工夫し多様な形で確保していく手段があるため、その体制づくりも必要と考えます。

今後は自主財源の確保について、ふるさと納税のみならず法定外普通税、目的税など新たな財源についての手法、市民の利便性が向上するよう有効活用などについても課題検証と方向性について、継続調査を進めていきます。



## 調査第5号

## 健康増進について

〔中間報告〕

## 市民福祉委員会

本市では、国の健康づくり運動「健康日本21」の取組みを法的に位置づけた健康増進法に基づき、本市の健康課題を明らかにした上で、生活習慣病予防に視点をおいた、富良野市健康増進計画を平成18年3月に策定し、健康増進政策を推進してきました。

その後、平成25年に国の健康づくり運動の基本的な方針の見直しを受け、同年に第二次富良野市健康増進計画を策定し、平成30年3月には中間評価を行い、進捗状況を確認し公表しています。

また、平成30年5月には富良野市国民健康保険第二期保健事業実施計画（データヘルス計画）・第三期特定健康診査等実施計画を策定し、計画期間を平成30年度から令和5年度までの6年間としたことを受けて、第2次富良野市健康増進計画についても計画期間の終期を令和5年度までとして整合性を図り、総合的に市民の健康増進に取り組んでいます。

本市における令和元年度の国民健康保険被保険者の特定健診受診率は50・3%となっており、全国の受診率38・0%、北海道の受診

率28・9%を大きく上回っています。

また、平成27年の国民健康保険法等の改正により、保険者における医療費適正化を図るため、新たなインセンティブとなる保険者努力支援制度が創設され、平成30年度から本格実施される中、令和3年度の本市の保険者努力支援制度の実績は全国58位、道内20位となっており、担当課の努力が実績につながっているものと推察されます。

そして、今年度から保健医療課に「健幸都市・健診担当」主幹を配置し、市民の健康増進を積極的に推進する体制を整え、令和元年度から実施している「ふらの健康マイレージ事業」をリニューアルし「ふらの健幸ポイント事業」をスタートし、担当課のお一層の努力に期待するところです。

今後は、課題検証や先進地の事例調査を行いながら、さらに調査を深めたいことから、継続して調査を進めていきます。

## 調査第6号

## 公営住宅について

〔中間報告〕

## 経済建設委員会

本委員会では、担当部局より資料の提出と説明を求め、調査を進めてきました。

公営住宅とは、公営住宅法（昭和26年法律第193号）第2条第2号に規定されている住宅をいい、その規定は「地方公共団体が、建設、買取り又は、借上げを行い、低額所得者に賃貸し、又は転貸するため住宅及びその付帯施設で、この法律の規定による国の補助に係るものをいう。」とされています。

令和4年3月末現在における本市の公営住宅管理戸数は619戸、管理棟数は138棟で、このほか北海道から指定管理業務を請け負っている道営住宅などを含めて管理しており、現在の入居状況、さらに特定目的住宅や空き住戸の状況、入居応募と抽選の状況、抽選時の優遇措置、公営住宅使用料（家賃）の計算方法、富良野市公営住宅長寿命化計画について説明を受けるとともに、8月に入居者募集が行われた住宅の内部調査とすべての公営住宅について外観目視による現地調査を行い、議論を進めてきたところです。

これからの公営住宅の在り方を

考える上で、高齢化社会を見据えたバリアフリー化への対応、省エネ対策、入居応募者の世代の偏り、政策空き家の扱いや、既存住宅の建て替えに向けた諸問題、民間借上げをはじめとした多様な住宅供給方法などについて、委員から多数の意見が挙げられており、今後、先進地都市事例調査を行いながら、更に調査を深めたいことから、今回は中間報告とし、継続して調査を進めていきます。



公営住宅の現地調査



## 議会改革について

〔最終報告〕

### 議会改革特別委員会

本特別委員会は、明年の市議会議員選挙が予定されていることから、議員定数に関する議論を進め、市民の意見として削減の声が多いことに対し、意見など行政に届かなくなる不安の声も一定数あることを考慮する必要がある、議会機能を維持しつつ多様性を確保できる議員定数については、現在より2名削減し16名とする結論を令和4年第1回定例会で報告し、第2回定例会において、定数条例の一部改正案を全会一致で可決してきました。

その後、議員定数の削減に伴う常任委員会、議会運営委員会、特別委員会のあり方について議論を進めてきたところです。

常任委員会については、3委員会とする案、2委員会にする案の2点に絞り議論を行ったところ、委員数の減少による議論の質の低下、事務調査数の減少による行政の監視機能の低下といった懸念が出されました。本市議会では、提案される議案の多くが本会議で質疑、審議を行う本会議中心主義であるため、委員会は、閉会中の所管事務調査が中心であり、委員数が現状よりも1人減少するものの、

事務調査の数を維持し行政の監視機能を維持することを優先し、現状と同じ3つの委員会とする結論に至りました。しかし、委員数の減少による議論の質の低下や一部委員への負担の偏りなどの懸念も払拭できないことから、改選後1年を別途として、常任委員会の体制の検証を行い、再検討を行うことと意見の一致を見ました。

議会運営委員会については、現状の定数を継続すると、委員会に出席する議員が正副議長を含め9名となり、本会議での過半数を超えることから、1名削減し定数を6名とすることで意見の一致を見ました。

特別委員会については、委員会条例の規定で、「委員の定数は、議会の議決で定める。」とされていることから、これに則って設置の都度、委員数を検討することを確認しました。

今後、議員定数の議論を進める際は人口に比例した削減や類似団体との単純比較ではなく、本市における地方自治の状況をしっかりと見極め議論を進めていくことが重要であると委員会の議論を通じて感じられました。

## 可決された意見書(抜粋)

### 国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書

社会資本を取り巻く環境は、激甚化・頻発化する自然災害をはじめ、巨大地震のリスク増大のほか、公共施設の老朽化など、様々な課題を抱えている。

今後は、北海道の強みである「食」や「観光」に関連する地域(生産空間)が持つ潜在力が最大限発揮されるよう、平常時・災害時を問わない北海道を支える基盤の確立に向け、防災・減災、国土強靱化に資する社会資本整備を図ることが必要である。

このような中、地方財政は依然として厳しい状況にあることから、国と地方の適切な役割分担のもと、防災・減災、国土強靱化に必要な予算を安定的かつ継続的に確保することが重要である。

国においては、公共事業関係予算の所要額を確保するとともに、地域の実態を反映した配分を行い、防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策の推進に必要な措置、対策の終了後においても継続を要望する意見書。

第3回定例会において議員提案された意見書は2件です。意見書は可決後、直ちに関係機関へ送付しました。

### 義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、「30人以下学級」など教育予算確保・拡充と就学保障の実現に向けた意見書

義務教育費国庫負担制度は、教職員の給与の一部を国が負担する制度である。教育の機会均等を確保するためにも、国の責任において本制度を堅持し、国の負担率を1/2へと復元することが重要である。

教職員定数の標準に関する法律の一部が改正され、小学校において段階的に35人以下学級の実現が進められるが、中学・高校については検討するにとどまっている。早急に30人以下学級によるきめ細やかな教育を実現するため、教職員の増加が必要である。

また、私費負担が減少せず、教材費や図書費についても自治体によって措置に格差が生じている。

子どもたちは、住む地域や環境に関係なく平等に教育を受ける権利を有し、国において保障されるべきものである。教育環境の充実と合わせ、国による義務教育費無償をはじめ、教育予算の確保と拡充を要請する意見書。

## 委員会報告

### 意見書

## 議員辞職及び会派所属議員の変更について

- 水間健太議員より8月31日付けで辞職を求める願いが8月29日付で提出され、8月31日をもって、議長の職権により辞職を許可しました。
- 辞職に伴い、水間前議員が所属していた会派「ふらの令和の会」の所属議員数は3人となります。
- この辞職に伴う補欠選挙等は、公職選挙法の規定により行われません。

## 議会運営委員会及び議会広報特別委員会の委員補充選任並びに各委員会の副委員長の互選結果について

- 議員の辞職に伴い、欠員が生じた議会運営委員会と議会広報特別委員会に対し、委員の補充選任を9月1日に行い、同日に両委員会が開催され、さらに不在であった副委員長の互選が行われました。

委員会名	補充選任された議員氏名	副委員長に互選された委員氏名
議会運営委員会	小林 裕幸 議員	後藤英知夫 委員
議会広報特別委員会	宇治 則幸 議員	渋谷 正文 委員

## 議会日誌 ～令和4年8月から令和4年10月の議会関係の開催状況をお知らせします～

### 8月

- 1日・議会広報特別委員会
- 4日・市民福祉委員会
- 5日・総務文教委員会
- 9日・経済建設委員会
- 18日・市民福祉委員会
  - ・議会とまちづくりトーク
- 19日・議会広報特別委員会
- 22日・議員協議会
- 23日・経済建設委員会
- 25日・第3回定例会告示
- 29日・代表者会議
  - ・議会運営委員会

### 9月

- 2日・第3回定例会（1日目）
  - ・決算審査特別委員会
- 8日・第3回定例会（2日目）

- ・総務文教委員会
- 9日・第3回定例会（3日目）
  - ・議会運営委員会
- 12日・経済建設委員会
- 14日・議会運営委員会
  - ・第3回定例会（4日目）
  - ・決算審査特別委員会
- 22日・市民福祉委員会
- 26日・新庁舎開庁
- 27日・議員協議会
- 28日・議会広報特別委員会

### 10月

- 5日・第4回臨時会告示
  - ・市民福祉委員会
- 12日・第4回臨時会
  - ・総務文教委員会
  - ・議会広報特別委員会

- 12日～13日
  - ・北海道市議会議長会道北支部議長会
- 18日～19日
  - ・全国市議会議長会基地協議会北海道部会定期総会
- 18日～20日
  - ・市民福祉委員会都市事例調査
- 19日～21日
  - ・経済建設委員会都市事例調査
- 20日～22日
  - ・総務文教委員会都市事例調査
- 24日・広域連合議会第2回定例会告示
- 25日・議会広報特別委員会
- 26日・北海道市議会議長会道北支部議長会議員研修会
- 31日・広域連合議会第2回定例会

## 都市事例調査申出

- 各委員会では議長の許可を受け、閉会中、次のとおり都市事例調査を行います。

委員会名	調査件名	調査地		調査件名
総務文教委員会	自主財源の確保について	神奈川県横須賀市	長野県軽井沢町	10月20日～22日
市民福祉委員会	健康増進について	兵庫県豊岡市	兵庫県西脇市	10月18日～20日
経済建設委員会	公営住宅等について	茨城県ひたちなか市	愛知県瀬戸市	10月19日～21日
		愛知県豊田市		



## 議員向け ICT セキュリティ 講習会を開きました

富良野市議会は、これまでグループウェアを利用するうえでの運用基準を定め、議会関連資料やその他の資料の共有、情報の伝達と共有、スケジュール管理、ペーパーレス会議等を行ってきたところです。

現在、タブレット端末の導入を検討していることとあわせて、今後も、デジタル化を推進するためには、進化し続けるデジタル技術への的確な対応が必要となることから、行政のデジタル化推進を図る国の「デジタル専門人材」事業を通じ、2021年度から2年間、本市に派遣されているNTT東日本北海道事業部の櫻麻希子氏を講師に迎え、セキュリティ講習会を9月9日に開催しています。

①人為的ミスが起きた時の初動対応といった情報セキュリティが必要な理由と基本的な行動ルール、②セキュリティ事件・事故の被害例と庁舎以外で議員活動する際に注意する点、③物理的な漏えい対策と適切な端末

のロック設定による端末の情報漏えい対策、④SNS利用やインターネットでの情報発信における注意点について、事例を交えて具体的に解説を受けています。

富良野市議会の全議員がネットワークセキュリティの大切さを理解し、情報漏えいを起こさないよう、各種ICT機器の適切な取り扱いを心がけることを学ぶとともに、得られた情報を充実した議論へとつなげ、議会情報を積極的に公開し、内外にわかりやすくすることによって、市民からの議会（運営）への信頼度を高めて、住民の福祉向上と将来的に地域とのつながりが活性化することを目指してまいります。



## 次回定例会（令和4年12月）のご案内

次回定例会の開催予定です。開会は通常 10 時となっています。

日	月	火	水	木	金	土
11/27	28	29	30	1	2	3
			本会議			
4	5	6	7	8	9	10
			一般質問	一般質問	予備日	
11	12	13	14	15	16	17
		本会議				
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

議会日程は変更になる場合があります。

## 議会を 見る聴く

### インターネット中継

本会議や一般質問はインターネット中継を行っています。

[富良野市議会インターネット中継](#) [検索](#)  
インターネット生中継・録画中継

### ラジオ放送

一般質問の質疑を編集したものをラジオふらので放送しています。放送日程については議会ホームページなどをご確認下さい。

## 議会を 読む知る

### 議会広報紙

定例会ごとに、議会広報紙を発行し全戸配布しています。ホームページからもご覧になれます。

### 議会ホームページ

議会ホームページでは、本会議や諸会議の開催案内や会議録などを掲載しています。ぜひご覧ください。

## 編集後記

- ▼新庁舎建設で議会も割れた3年前。僅か一票の差で建設が決まった。
- ▼立地の安全性、富良野らしさの独自性、環境面、人口減からの各種影響、市役所と文化会館併合による機能の検証、解体による物品のリサイクルの方向性など、議会での議論は白熱した。
- ▼真新しい新庁舎が、開庁した。この建物を活かすのは言うまでもなく市民であり、行政を司る議員、議会でもある。
- ▼市民の役に立つ所として、いつも市民の目線に立った接遇、対応が望まれる。
- ▼要は、中身の充実であり、具体的にどう取り組むか、今までの課題点は何だったのか。
- ▼市民と職員、我々議会も市民との接点を大切に、より良い富良野を目指しましょう。開庁に寄せて。  
(委員 宮田 均)

## フラノギカイNo.98の記事訂正について

8月発行のフラノギカイNo.98の6ページ、関野常勝議員の一般質問記事中、二つ目の答えて「平成30年度」とあるのは、「平成30年度」の誤りです。



# 議会の 中から こんにちは

新庁舎 4階  
議会フロアにお越しください

富良野市議会は、市民の皆様の生活に密接した身近な存在であり、身近な場所です。年4回の議会定例会の他、各種委員会などお気軽に足を運んでいただき、傍聴して頂きたいと願っております。ぜひ議会フロアまでお越しください。  
本ページでは、富良野市新庁舎4階の「議会フロア」までのアクセス(経路)をご案内します。



◇ラウンジにあるモニターで会議のようすがご覧になれます。周りの音を気にすることなく、ゆったりお過ごし下さい。



## 4F

- 議場 ■ 議会事務局 ■ 正副議長室
- 議会委員会室 ■ 議会会議室

